国際政治経済学入門Ⅰ

科目ナンバリング　INR-101
【Ⅴ】　選択　2単位

伊藤　寛了

1. 授業の概要（ねらい）

グローバル化が進んだ現代社会において、世界の国々の関わりは政治的にも経済的にも一層密接になっています。その結果として、政治的な対立が結果的に経済にも大きな影響を及ぼします。また一見すると技術的な問題とも思える環境問題であっても、詳しく見てみると国際政治と国際経済が深く絡み合っていることが分かります。この授業では、そうした政治と経済が相互に作用する国と国との関係や地域的な統合、あるいは国際問題を理解するための基礎となる国際政治経済の基本的な知識を学んでいきます。

2. 授業の到達目標

（1）国際政治経済に関する基本的な知識を理解し、説明することができる。
（2）国際問題の原因や経緯について学び、概略を説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

レスポンスシートを含む平常点30%、期末試験またはレポート70%

4. 教科書・参考文献

教科書
野林健・大芝亮・納家政嗣・山田 敦・長尾 悟　国際政治経済学・入門 第3版　有斐閣
参考文献
教科書以外の参考文献は授業中に適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

・各回で扱う教科書の範囲を予習して授業に臨んで下さい
・日頃から関連するニュースをチェックするようにして下さい

6. その他履修上の注意事項

後期のみ開講。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：国際政治経済学の視点
【第2回】　国際政治経済の理論的枠組み
【第3回】　ブレトンウッズ体制の成立
【第4回】　冷戦と新たな国際政治経済体制
【第5回】　経済安全保障
【第6回】　自由貿易と保護主義
【第7回】　金融グローバル化の構図
【第8回】　国際政治経済学と科学技術
【第9回】　人の移動と政治経済
【第10回】　人権・民主化・経済的発展
【第11回】　環境問題の政治経済
【第12回】　新しい国際政治経済秩序の模索
【第13回】　地域的統合の枠組み
【第14回】　国と国の関係と国際的秩序の枠組み（オンライン授業）
【第15回】　総括（期末試験の場合は第15回授業で実施）